

# 北海道の想定地震に対応した応急危険判定度震前計画の策定に関する研究

## 背景と目的

- 地震で被災した建築物の応急的な安全性を判定するのが応急危険度判定です。この判定活動を速やかに実施するため市町村等で活用できる各種マニュアルをこれまでに提案してきました。
- これらマニュアルに加え、本研究では、北海道や市町村が判定活動に関して事前に準備しておくことを定めた震前支援計画や判定震前計画を策定可能とするため、モデル振興局、市町村を選定し計画策定を支援し、作成方法を「手引き」としてまとめました(図1)。

## 成果

### A. 地震被害想定に基づいた市町村震前計画作成方法の提案

- 想定地震に対する被害想定結果から、市町村における必要判定士数を計算し(表1)、モデル市町村・振興局(根室市・留萌市・浦河町・釧路市及び該当振興局)において判定震前計画・震前支援計画を作成しました。作成の検討プロセスを「震災建築物応急危険度判定震前計画作成の手引き」として取りまとめました(表2)。

表1 想定される必要判定士数

	帯広市震前計画案				浦河町震前計画案	
	十勝沖の地震		十勝平野断層帯主部45.2の地震		十勝沖の地震	
	夏	冬	夏	冬	夏	冬
震度	6.0		6.5		6.2	
木造被害棟数(揺れによる)	全壊	1	7	60	386	1
	半壊	23	199	511	2,132	24
非木造被害棟数(揺れによる)	全壊	9	9	149	5	5
	半壊	91	91	486	34	34
判定棟数	234	586	2,097	5,501	118	118
1日当たり	班数	2	7	16	62	1
	判定士数	4	14	32	124	2
判定必要日数	9	9	9	9	8	6
述べ必要判定士数(3日交代)	12	42	96	372	6	8
支援受入人数	0	0	34	310	6	8

### B. 震前計画に基づいた応急危険度判定コーディネーター研修の実施

- 応急危険度判定士派遣シミュレーションの結果をもとに作成した震前計画に基づき、DIG(災害図上訓練)による研修を実施しました(図2)。

### C. 北海道支援本部における震前支援計画の検討

- 道の震前支援計画案を示すとともに、支援計画図(緊急輸送道路の通行可能性、役所・役場位置、宿泊先の検討範囲)を作成しました(図3)。

## 成果の活用

本研究の成果は、モデル市町村・振興局の震前計画及び道の震前支援計画として反映されています。また、作成した「手引き」の説明会を、道と連携し開催することにより、道内市町村への普及を図ります。

### 1. 地震被害想定に基づいた市町村震前計画作成方法の提案

- 震前計画を作成し、計画作成の手引きとしてとりまとめ

### 2. 震前計画に基づいた応急危険度判定コーディネーター研修の実施

- 地震被害想定を利用した判定士動員シミュレーションをもとに、DIG(災害図上訓練)による研修を実施

### 3. 北海道支援本部における震前支援計画の検討

- 道の震前支援計画作成の支援

図1 研究フロー

表2 震災建築物応急危険度判定震前計画作成の手引き(案) 目次構成

目次	主な内容
第1 目的	計画策定の目的
第2 地震による震災建築物等の予測	計画に記載する対象地震の選定
第3 実施本部等の設置	設置基準、実施本部要員等
第4 判定実施の要否判断と判定実施の宣言	判定実施の判断方法・基準
第5 判定作業計画の作成	判定作業計画の作成方法
第6 判定士等の確保	支援要請先や養成方法
第7 判定資機材の確保	資機材の備蓄リスト、支援要請方法
第8 判定コーディネーターの配置	コーディネーター候補者
第9 判定士等の移動手段並びに宿泊所等の手配	移動ルート、宿泊先
第10 判定士等の受け付け、名簿作成	台帳のひな形
第11 判定活動の実施	判定区域割図の作成方法
第12 判定結果の取りまとめ、報告及びその活用	
第13 実施結果に関する住民への広報等	



図2 コーディネーター研修の様子

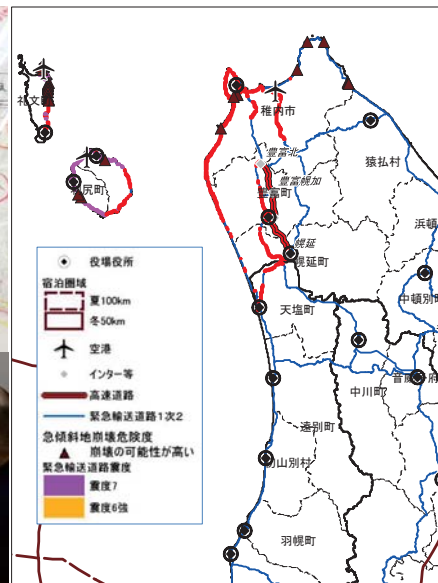


図3 判定計画図(北海道北西沖の地震)